

# 景観こぼれ話

## 山口神社

～平安後期から伝わる熊野詣の立寄所～

桓武天皇が奈良時代に玉津島神社に行幸する際に、一時的な宮殿として建てられたという謂れが残っています。古くは、東西十町（約 1,090m）南北八町（約 870m）の広大な敷地を持っていたと言われています。

和歌山城から鬼門の方向（北東）に当たるため、北東の守りとして重要視されていました。そのため一度は焼失したものの、羽柴秀長、浅野行長、さらに徳川家の援助を受け、江戸初期には現在の位置に再建されたそうです。

明治になってから、山口の村の神社を合祀し、山口神社となりました。



上：神社の社殿  
下：かつての境内の広さを思わせる、離れたところにある鳥居

## 雄ノ山峠付近のお話

大阪方面から和歌山へと熊野古道をたどり、雄ノ山峠を越えて、たくさんの方が行き来しました。数々の伝説やストーリーが、今に残されています。

一つは、小野小町がこの地で没したという伝説で、山口の小野寺の境内に小町の墓という石碑があります。晩年に熊野詣でを行い、その帰路に雄ノ山峠を越えることができず病気になり、この地で療養していたが老衰で亡くなったそうです。

また峠付近には、「白鳥伝説」として言い伝えられている、白鳥の関（紀の関）があったといわれています。ある男が助けた白鳥が恩返しをする、という物語です。

熊野古道を歩いた、たくさんの人たち。狭い谷を越えて和歌山に入った後、一気に視界の開けるこの平野への眺望を、どんな気持ちで眺めたのでしょうか。



湯屋谷付近（熊野古道近く）から南方向への眺め



# わかやまし 景観ガイド

魅力  
満載！

上：棚田の風景 下：集落のまちなみ（里）

## 北東部地域の景観

北東部地域は北に紀泉アルプスとも呼ばれる和泉山脈を控え、紀の川に向かって南下がりの丘陵と扇状地の広がるエリアです。

山から紀の川にかけての斜面には棚田が広がり、のどかな農の景観があります。

熊野古道が通っており、古くから多くの方が雄ノ山峠を通り南下して当地域を行き来しました。

南の平坦なエリアには、山口神社や力待神社などの歴史ある神社があるほか、王子跡や歴史的な趣きのある集落の家々もあり、当時の様子をしのぶことができます。

北にある雄ノ山峠などの谷の空間にも、王子跡や歌碑などが残されているほか、どこかなつかしさを感じさせる集落もあります。



### 問い合わせ先

和歌山市 産業まちづくり局 都市計画部 都市再生課

〒640-8511 和歌山市七番丁 23 番地 Tel(直通): 073-435-1048

# 魅力マップ

～北東部～

## 山口神社と熊野古道沿いの風景

田園風景の中に、鳥居と参拝道の並木が目を引き、ランドマークとなっています。境内には深い森があり、静かで神秘的な雰囲気が漂っています。

境内と鳥居の間が長く、かつての規模の大きさがしのべられます。周辺の集落には立派な建物が残っています。



## 力侍神社

天照大神が天岩戸から顔をのぞかせた瞬間に天岩戸を引き上げた力持の神様とされる、天手力男命（あめのたぢからのおのみこと）を主神としています。建立は寛永11年(1634年)です。

西に力侍神社本殿、東に摂社八王子神社本殿が並び、鎮守の森に囲まれています。



## 滝畑の集落と熊野古道

山間に立地するどこか懐かしい風景が残る集落です。熊野古道沿いにある集落でもあり、すぐ近くには中山王子があります。



## 万葉歌碑

雄ノ山峠は古くから交通の要所であったため、「わが背子が 跡ふみ求め追い行かば 紀伊の関守 い留めてむかも」(笠金村作)の歌碑が残されています。

## 熊野古道と山口王子跡

和歌山市内に入ると2つめの王子跡です。和歌山市内では、中山王子→山口王子→川辺王子→中村王子→吐前王子→川端王子(南東部)と続きます。



## 山口御殿跡(山口小学校)

江戸時代の地方豪族、山口喜内の屋敷跡に建てられた、紀州藩の別邸(御殿)跡です。敷地には、外敵を防ぐための堀を巡らしていました。明治期からは敷地を小学校として利用しています。石橋などが今も残っています。



## コラム 和歌山の棚田

紀の川から北の方向にある和泉山脈にかけては斜面になっており、特に北東部地域は比較的なだらかな傾斜です。そのため、山口神社あたりを中心に棚田が広がっています。

棚田は土手を維持するのが大変なので、手間ひまかけて農業が営まれてきました。そんな、人の「営み」がにじむ風景です。

また地形に沿って田んぼの形が決まっているため、緩やかな曲線できている「有機的」な景観でもあります。



## コラム 熊野古道がしのばれる、歴史あるまちなみ

熊野古道沿いには今も、当時をしのばせる建物や史跡などが残っています。

雄ノ山峠のすぐ近くには、滝畑の集落があります。狭い谷の空間に数十軒の民家があり、時の流れがゆったりと感じられるようです。

里の集落には、古道沿いに町家が軒を連ねています。立派な青石の井戸があり、そのすぐ近くには山口御殿跡もあります。



左上:里の集落  
右上:青石でできた井戸  
下:滝畑の集落